

GeForce2 MX400チップ採用の PCI版TwinView対応ビデオカード

コストパフォーマンス

機能性/操作性

総合評価

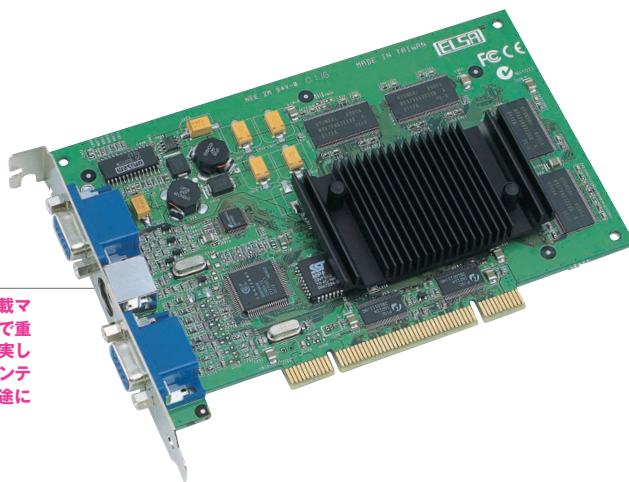
★★★★☆

★★★★☆

★★★★☆

ELSA GLADIAC 511 TWIN 32 PCI

エルザジャパン >>>>>> 価格：オープンプライス(実勢価格：約1万7000円)



Point! >>>>>>

メーカー製マシンやIntel 810マザー搭載マシンなど、AGPスロットを持たないPCで重宝する、PCI版の高性能ビデオカード。充実したセカンダリ画像出力端子を備え、プレゼンテーションやDVD再生など、3D以外の用途にも利用できる。

セカンダリ出力として VGA端子, Sビデオ端子を持つ

エルザジャパンから発売されている「ELSA GLADIAC 511 TWIN 32 PCI」(以下、GLADIAC 511 PCI)は、NVIDIAのGeForce2 MX400チップを採用したビデオカードだ。このチップを採用したカードとしては珍しく、PCIバス用の製品だ。

ビデオメモリは32MBを搭載する。試用した製品では、5nsのメモリチップが搭載されていた。

出力端子は、GeForce2 MX系チップのTwinView機能を使うため、VGA出力端子を2個備えている。また、ブラケット上にSビデオ端子が付いており、コンボジット端子への変換ケーブルも付属する。

GDI性能はAGP版に匹敵、 3D性能は80～85%

試用した製品には英語版ドライバ(Datatorator 3のVer.6.72ベース)が付属しているが、エルザジャパンのサイトにはより新しいバージョン(同じくVer.7.56ベース)が提供されており、こちらは画面のプロパティの設定ユーティリティが日本語化されている。一方、

NVIDIAのリファレンスドライバは原稿執筆時点ではVer.12.41が最新である。この両ドライバと、同一チップを搭載した他社製のAGPカード(ただしビデオメモリは64MB)とで、GDI、Direct 3D、OpenGLの各分野で性能を比較してみた。

GDI描画に関してはAGP版との差がほとんどなく、むしろドライババージョンによる性能差が大きくなる(Ver.7.56のほうが高速)。

一方、3D描画に関しては、製品添付のドライバで3DMark2000/2001を実行したときに、著しく値が低い結果になった。ただ、Quakeのテストでは両ドライバでの差は大きくない。いくつかのDirect3Dゲームでフレームレートをリアルタイム表示させてみたが、

ドライババージョンによる性能差はあまりなく、3DMarkのエンジンの固有の問題かもしれない。

QuakeやVer.12.41のドライバで実行した3DMarkの結果を見ると、GLADIAC 511 PCIの3D性能は、AGP版GeForce2 MX400採用カードの80～85%程度となる。さすがにAGP版と同等というわけにはいかないが、現在の多くの3Dゲームを楽しむには十分なスコアだろう。

PCIスロットによるビデオのアップグレードパスは、選択肢が非常に限定されてしまう。3D性能を重視したい場合、本製品は有力な候補になる。実勢価格も、十分リーズナブルだ。

(西川 潤)

表 GLADIAC 511 PCIのベンチマーク結果

製品 (ドライババージョン)	Business Graphics WinMark 99	High-End Graphics WinMark 99	3DMark2000 Ver.1.1	3DMark2001	QuakeII Arena Demo1 TimeDemo (fps)
GLADIAC 511 PCI (Ver.7.56, エルザジャパン版)	275	822	2680	956	63.2
GLADIAC 511 PCI (Ver.12.41, NVIDIAリファレンスドライバ)	274	800	4083	2044	64.4
AGP版GeForce2 MX400搭載ビデオカード (Ver.7.56, NVIDIAリファレンスドライバ)	278	826	4679	2141	81.7
AGP版GeForce2 MX400搭載ビデオカード (Ver.12.41, NVIDIAリファレンスドライバ)	274	808	4397	2320	79.3

テスト環境

CPU : Pentium III /700MHz

マザーボード : ASUS TeK COMPUTER CUSL2-M

メモリ : SDRAM 256MB (PC/100, CL=2)

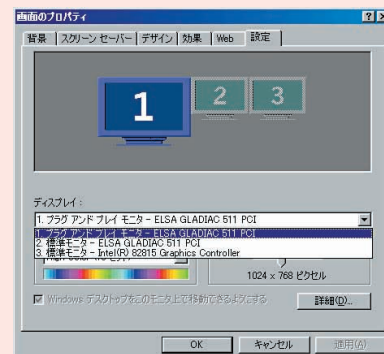
OS : Windows 98 SE

※QuakeII Arenaを除きすべて1024×768ドット・16ビットカラー、リフレッシュレート85Hz

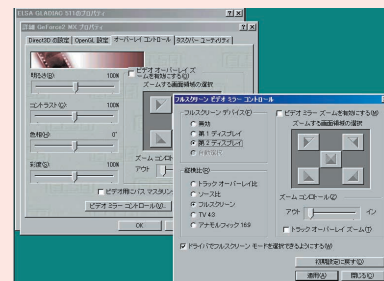
※QuakeII ArenaはHighQuality設定(800×600ドット・32ビットカラー、リフレッシュレート85Hz)



VGA端子2個に加え、Sビデオ端子を備える。コンボジット端子への変換ケーブルも付属する



内部AGP接続された統合型チップセットのPCに搭載すれば、PC本体+PCIスロットで3画面の出力が可能になる



MatroxのMillennium G400 DualHeadで提供される「DVD Max」機能のように、GeForce2 MX系でもセカンダリ側ディスプレイにビデオオーバーレイ画面をフルスクリーン出力できる。NVIDIAのリファレンスドライバの場合は設定に入るためのボタンの表記が隠れてしまうが、日本語ドライバが添付される本製品では、スムーズに設定できる

問い合わせ先：エルザジャパン
☎03-2765-7391

ビデオチップ：NVIDIA GeForce2 MX400

ビデオメモリ：32MB

対応OS：Windows 98/Me/NT4.0/2000

付属品：日本語マニュアル、Sビデオコンボジット変換ケーブル、ソフトウェアDVDプレイヤー「ELSAmovie2000」